

# β2M吸着器(リクセル)

第7回中国腎不全研究会・第14回中国CAPD研究会  
(1998.10.4 広島)

○田辺恒則,松見勉,脊戸川内稔,高杉和子, 高杉敬久

キーワード:β2M,血液吸着,リクセル

# Ⅰ はじめに

長期透析の合併症の一つである,アミロイドーシスの原因物質とされている $\beta$ 2Mを除去する $\beta$ 2M吸着器(リクセル)を使用する機会を得,今回我々は8名に試み自覚症状,QOLの改善度,他覚的所見について検討を加えたので報告する。

## Ⅱ 症例

- 継続症例4名 , 離脱症例4名
- <継続症例>
  - <症例1>

53才男性,透析歴17年7ヶ月,右測手,肘,肩関節痛を訴えていた。リクセル使用37回で右手首痛消失,61回で関節痛なくなる。
  - <症例2>

66才女性,透析歴14年,膝関節痛,右指の輝れ,可動域の制限を訴えていた。リクセル使用45回目で指の痺れ緩和。
  - <症例3>

42才男性,透析歴22年6ヶ月,全身の関節痛,左側肘,手指関節および両膝関節の可動域の制限を訴えていた。リクセル使用12回で指が以前より曲がる。
  - <症例4>

47才男性,透析歴19年1ヶ月,肩関節痛,可動域の制限を訴えていた。リクセル使用18回で肩痛軽減。

● 継続症例のリクセル使用期間9ヶ月～7ヶ月

● 継続症例での自覚症状の変化

(リクセル使用前症状⇒9ヶ月～7ヶ月使用後症状)

- 症例1...睡眠中痛みに目を覚ます事がたまにあった。⇒目を覚ます事はなくなった。右側手,肘,肩関節がずっと痛む。⇒関節の痛みはなくなった。
- 症例2...右手指が少ししか曲がらない。⇒以前より曲がるようになった。
- 症例3...左手指,肘,両膝の関節が少ししか曲がらない。⇒曲がるようになった。
- 症例4...睡眠中痛みに目を覚ます事がよくあった。⇒今はない。肩関節がずっと癩い。⇒ほとんど痛みはなくなった。肩関節が真上に上がらない。⇒今は上がる。

## ●継続症例のQOL

症例1...水道の蛇口を楽に片手で開ける事ができるようになった。

- 症例2...水道の蛇口を軽く閉めてもらえれば開ける事ができるようになった。
- 症例3...服のボタンを留める事ができるようになり,生活面で両手が使えるようになった。
- 症例4...後ろに手が回るようになったため,ズボンがきちっとはけるようになった。

## ●継続症例での他覚的所見

症例3の左手指関節における可動域の変化曲げる方向で変化を認めた。

症例1の右手指の伸展右指の伸展が可能となった。

症例1,2,3の握力の変化は、症例2に改善が見られ,症例3は可動域が増えたにも関わらず変化はなく,症例1は元々30あり変化が認められない。

## ●離脱症例

<症例1> 56才女性,透析歴23年3ヶ月,舌苔面にアミロイド沈着著明,ドライウエイト28kgと小柄,アレルギー体質あり,肩痛,指先の痒れを訴えていた。リクセル27回で中止。

<症例2> リクセル19回で中止。

<症例3> リクセル8回で中止。

<症例4> リクセル23回で中止。

## ●離脱症例中止原因考察

症例1...ウェイトに対してリクセルのボリュウムが大きすぎた為か?

症例2...透析中の血圧低下

症例3...本人の希望

## Ⅲ結果

8名に使用を試みたが、継続できたのは4名に留まった。継続症例ではQOLにおいて改善の方向で自覚的な変化を認めた。

## IV 考案

離脱症例については、総循環血液量に対するカラムの大きさが影響していると思われる症例もあり、今後は体格に応じたリクセルの開発、併用ダイアライザーの検討等が望まれる。